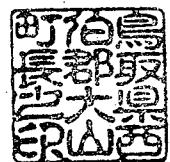


受大建第388号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長様

大山町長



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（提出）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありましたこのことについて、  
別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①

鳥取県 大山町

1. 地方の道路整備（ネットワーク整備）は経済活力増大の大きな要因であり、道路整備で地方の活力を！
  - ・高速道路網整備（ネットワーク整備）に集中投資して頂きたい。
  - ・国の責務で高速道路網を整備し、交通量、渋滞解消などの経済効果だけでなく、地域の実情を柔軟に判断し、優先順位を付けるなど地方への配慮をして頂きたい。
  - ・国は地方の社会基盤整備をして頂きたい。特に、道路整備は国の責務である。そして地方は、まちづくり、地域活性化など次のステップに繋げたい。
  - ・町は福祉、教育に費用がかかり、今の財政状況では道路整備に多額の費用をかけれない。道路維持費用にも補助制度を設けるなど制度拡充をお願いしたい。
2. 道路整備による過疎化、高齢化対策を！
  - ・公共交通機関の発達していない地方では一番便利な移動手段は車であり、高齢者にとって自分で移動手段を持つことは、日常生活の利便だけでなく生き甲斐や介護予防にも繋がる。

今後の道路行政についての意見・提案  
②-1 地域の現状と抱える課題

鳥取県 大山町

様式②

○現状

1. 高速交通網の整備促進により、生産性はどのように高まっています。内閣幹線化や、道幅拡大が日常生活に大きな影響を及ぼすことがあります。

2. 幹線道路網の充実は、地域経済の活性化につながります。また、産業づくりの発展や、市民生活向上が非常に重要です。

3. 成長する地域活性化に貢献するため、県内各地で整備が進められています。特に、国道や主要地方道の整備が進んでおり、県内各地の連絡がますます密になってきています。

○課題

1. 今後、報道網、路線網への設施整備が急務です。市町村をつなぐ近い整備が、市町村の輸送機能を阻害する可能性があります。

2. 現在、号牌制度による横断赤信号の実施が、車両の流れを阻害する原因となっています。また、道幅が狭い地域では、車両の行き止まりが発生する場合があります。

3. 町は、共計してとある町には、公共交通機関の整備が進んでいます。しかし、公共交通機関の利用率は、町内でも低いのが現状です。

今後の道路行政についての意見・提案  
②-2 地域の目指すべき将来像

様式③

鳥取県 大山町

現在、大山町では地域活性化の柱として「大山恵みの里づくり計画」を実践中であります。この計画は、大山の自然環境や歴史文化、資源などを活用して、地域活性化を図ることを目的としています。また、農業生産の多様化や観光振興も重要な柱です。

この計画により、大山町は多くの人々に愛される地域へと変貌しつつあります。特に、観光業の発展が著しいです。大山の自然美を活かした宿泊施設や、歴史的建造物の整備が進み、多くの観光客が訪れるようになりました。また、地元の特産品の販売も盛んです。

一方で、地域間の交流不足が課題となっています。大山町は、他の地域との連携を深め、より広い範囲での地域活性化を目指しています。また、公共交通機関の整備や、新たな観光ルートの開拓も進められています。今後は、さらに多くの人々に大山の魅力を伝えるため、様々な取り組みが行われる予定です。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④

鳥取県 大山町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活性化	山陰道の早期完成 大山町が描く活性化のグランドデザインの中で、山陰道を都市連携軸と定め、観光誘客、産物の流通を図る。	・中国横断自動車道姫道の開通、山陰道の開通を視野にした観光誘客。 ・高速道路利用による移動時間短縮効果が最大化され、高時企業誘致の活性化と共に進出企業あり（大山IC開通あり）	